

農業ひろさき

2023年8月1日 (第210号)

(令和5年8月1日)

編集と発行：弘前市農業委員会

弘前市大字上白銀町1-1 前川本館3階 電話0172-40-7104



大和沢小学校摘果体験



作業の様子

6月1日、大和沢小学校5年生児童4人が学校近くのりんご園で摘果作業を体験しました。

今回は、児童が5月に受粉を行い、数多く結実したりんごの中から大きな実だけを1つ残して他は摘み取る、「実すぐり」とも呼ばれる作業でした。ある児童は、「最初は手袋をしていたけど素手の方がやりやすかった」と話すなど、自分なりに工夫して、楽しみながら作業に取り組んでいました。

園主の對馬雅之さん(狼森)は「りんごは大体1日1ミリずつ成長するので、早い時期での摘果はすごく大切な作業。秋においしいりんごになることを期待しててください」と、児童の頑張りを労っていました。



作業の説明

地主教頭先生によると、6月22日に行われた袋かけ体験の後には、9月に絵付けシールの貼り付けを行い、10月から11月の間で収穫体験を実施予定とのことでした。

農地の利用状況調査実施中!

7月3日、市農業委員会は「農地利用状況調査」出発式を弘前市りんご公園で行いました。

出発式には、農業委員と農地利用最適化推進委員、農地活用支援隊員ら58人が参加し、成田繁則会長のあいさつに続いて、櫻田宏市長から激励の言葉がありました。これを受けて参加者を代表し前田優考会長職務代理者が、「農地の適正な活用に向けて、農地利用状況調査を実施します」と出発宣言をしました。市農業委員会は8月まで市内全域において、農地利用状況の調査を行います。

調査のため、農業委員・農地利用最適化推進委員などが農地内に立ち入ることがあります。ご理解とご協力をお願いします。



委員らを激励する櫻田市長(右)

問い合わせ先

農業委員会農地利用促進係
(市役所前川本館3階)

☎ 40-7104

または農業委員、農地利用最適化推進委員まで



調査の様子

ひろさき「農の魅力」体験事業

市では、地元産業における農業への将来的な人材育成を図る観点から、小学生を対象に、農業を通して「地域の魅力」に関心を持ってもらうため、令和元年度から、収穫体験や生産者との意見交換などを実施しています。

5年目となる今年は、りんごの収穫までの生産工程を体験することを目標に、北小学校、時敏小学校の2つの小学校で体験事業を実施しています。6月に行われた第1回目では、りんごに関する学習会と摘果作業を体験しました。

りんご摘果(第1回)～北小学校～

6月19日、晴天のなかタムラファーム(株)(悪戸)の園地にて、北小学校の3年生児童47人が、りんごの摘果作業を行いました。

児童たちは6班に分かれ、それぞれの担当するりんごの木を中心に作業を行いました。田村昌司代表取締役から説明を受け、みんなで協力し合い、高い所はりんご箱を踏み台にしながら、楽しく作業を行っていました。

終了後は多くの児童が、「楽しかった」「上手にできた」「もっと作業したかった」と話していました。なお、今後は着色管理や収穫などの作業を予定しています。



作業の様子

連携地区研修会開催



研修会の様子

市農業委員会(成田繁則会長)は、6月中旬に、市役所において農業委員及び農地利用最適化推進委員を対象とした地区別の研修会を開催しました。この研修会は、委員間の地区における連携などを目的として定期的

に開催しています。

今回の研修会では、農業経営基盤強化促進法の改正で、農業委員会が地域計画における目標地区の素案を作成するために活用するタブレット型端末の機能・操作方法等について、職員からの説明を受けました。

また、「農地利用状況調査」を前に、調査用地図の内容や判断の注意点など、利用状況調査の実施方法や意義について確認しました。

弘前市新採用職員 りんご栽培研修を実施しました

6月14日、今年4月に弘前市役所に採用された42人の新人職員を対象に、青森県りんご協会の協力のもと、市の基幹産業であるりんごの基礎知識を身に付けるための「りんご栽培研修」が、市りんご公園で行われました。



作業の様子

市役所業務において、りんごに関する知識を要する部署も多いことから、研修では、りんごの一年を通じた栽培方法や歴史を学びました。参加した職員は、「普段触れることのない作業が体験でき、農家の方が積み重ねてきた歴史を知ることができた」と話していました。

農業者向け青色申告研修会の開催 ～はじめてみよう！自分でできる青色申告！～

- ◆日 程 8月29日（火）午前9時30分から午後5時まで
- ◆場 所 中央公民館岩木館 大研修室
（弘前市大字賀田一丁目18-3）
- ◆内 容 下表のとおり
- ◆定 員 28名（先着順）
- ◆対 象 者 これから青色申告を始めることを検討している市内の農業者
- ◆参加費 無料
- ◆申込方法 8月25日（金）までにひろさき農業総合支援協議会事務局（弘前市農政課内）へお申し込みください。
※定員に達した場合はお断りさせていただく場合もあります。
※FAX、メールの場合は、氏名、電話番号を明記してください。



内 容	講 師
収入保険について	青森県農業共済組合
青色申告の概要 単式簿記について	青森県農業会議
複式簿記について 農業簿記ソフトの基本操作について	ソリマチ(株)盛岡

※内容は変更となる場合があります。

弘前市農業無料職業紹介所の登録者募集

農政課や市内JAでは、農業における労働力不足の解消を目的に「農業無料職業紹介所」を設置し、市内の農業者（求人者）と農業で働きたい人（求職者）のマッチングを行っています。
また、今年は収穫作業等の援農ボランティアを企画しているため、ボランティアの受入を希望する方はぜひ求人登録をお願いします。
※ご希望に添えない場合があります。

- ◆求人・求職の範囲 求人者：弘前市内の農業者、または農業法人
求職者：市内の農家で働きたい方
- ◆開 設 時 間 毎週月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時まで（祝祭日・年末年始などの閉庁日を除く。）
- ◆問い合わせ先等 下表のとおり

無料職業紹介所	住所	電話番号
弘前市農業無料職業紹介所（弘前市農政課）	弘前市大字上白銀町1-1	40-7102
JAつがる弘前農作業従事者無料職業紹介所	弘前市大字五代字早稲田509-1	82-1052
JA相馬村農作業従事者無料職業紹介所	弘前市大字五所字野沢23-1	84-3215
JA津軽みらい石川グリーンセンター	弘前市大字石川字家岸45-3	92-3311



農業委員会活動目標等の公表について

市農業委員会では、優良農地の確保や遊休農地の解消、担い手への農地集積に向けた令和5年度活動目標及び令和4年度活動計画に対する点検と評価を公表しています。

【市ホームページ】
農業・商工業・観光 > 農業情報 > 農業委員会による最適化活動の推進等について
または右記QRコードから



■問い合わせ先 農業委員会事務局（市役所前川本館3階）
☎40-7104

収入保険加入に向けた青色申告セミナー・税理士個別相談会開催のお知らせ

収入保険の加入要件である青色申告に関するセミナーと、税理士が個別に対応する相談会を開催します。参加料は無料です。ただし、セミナーは先着10名、個別相談会は先着2名ですので、お早めにお申し込みください。

開催日時	種 類	会 場
8月8日（火）	午前9時	青森県農業共済組合 ひろさき支所 弘前市大字門外字村井262
	午前10時30分	
	午後1時30分	
	午後3時	

※青色申告セミナーは1時間30分程度、個別相談会は1人30分程度を予定しております。

- ～ 青色申告セミナーの内容～
 - 青色申告のメリット、青色申告に切り替える手続き等の説明
 - 収入保険の説明
- ～ 個別相談会の内容～
 - 青色申告への切り替え手続き、記帳方法
 - 青色申告の書類作成等の一連

■問い合わせ・申込先 青森県農業共済組合 ひろさき支所 収入保険課 ☎28-5700

一人で作業をする時は家族に場所を伝えましょう！

令和6年度 農業用機械・施設等の導入事業に関する要望調査について

複数人での農作業や休憩で事故防止を！

農業用の機械・施設などの導入や整備について、農業者の皆様の要望を事前に調査します。来年度に農業用機械の導入などを検討されている方は、お知らせください。

- ◆調査目的 今後実施が予定される各種補助事業に迅速に対応するため、市内の農業者等の要望を、事前に把握するものです。
- ◆調査期間 8月1日（火）～8月31日（木）
- ◆調査事項 希望者の氏名、住所、連絡先、要望する機械・施設など
- ◆回答方法 電話または下記担当窓口にてお知らせください。（ただし、土・日・祝日は除きます）

※この調査は、あくまで事前調査であり、事業の申請ではありません。具体的な補助事業の内容やスケジュールが決まり次第、あらためて詳細について伺います。また、今回の調査期間終了後でも、ご相談は随時受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。

なお、運搬用トラックやパソコンなどの農業経営以外の用途にも活用できる汎用性の高いものの導入については、各種補助事業の対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

事業名	事業概要	対象者	補助金額など
1 農作業省力化・効率化対策事業	農業経営の改善・発展を図る上で必要な、①農業機械、②農業用ハウス、③荷捌き場等の整備を支援	農業者、農地所有適格法人、農業者等が組織する団体	対象経費の1/3以内（上限額：①・②は50万円、③は23万円） ※一定の要件を満たす場合、補助率や上限額を拡充・優先枠設定
2 野菜・花き産地育成事業	野菜・花き生産の省力化や高品質化等に必要の機械やパイプハウス等の導入を支援	認定農業者、認定新規就農者、農地所有適格法人、農業者等が組織する団体等	対象経費の1/4以内 ※パイプハウスについては上限額：5,592円/㎡
3 特産果樹産地育成・ブランド確立事業	果樹産地構造改革計画において掲載されている特産果樹の栽培に必要な取組（①新植用の苗木や支柱・樹棚、②雨よけハウス等の導入）を支援	認定農業者、認定新規就農者	①対象経費の1/4以内 ②対象経費の1/3以内
4 りんご防除機械等導入事業	スピードスプレーヤー、貯水槽、揚水・配水用機械・器具の導入を支援	3戸以上の農業者等が組織する団体	①収入保険又は果樹共済に全員加入済みの団体：対象経費の20%以内（上限額：140万円/台） ②上記以外（地域の産地保全活動等の実施が条件）：対象経費の20%以内（上限額：100万円/台）
5 りんご園防風網張替事業	りんご園の防風網の張替えを支援	収入保険又は果樹共済に加入済み等の農業者、農地所有適格法人	対象経費の1/3以内（上限額：18万円）

※補助事業は令和5年度実施分の一部を掲載しています。また、今後変更の可能性があります。具体的な事業内容等が決まり次第、ひろさき農業メールマガジン等でお知らせします。

■市ホームページ（メールマガジン）https://www.city.hirosaki.aomori.jp/sangyo/nogyo/mail_magazine/
（事業詳細）https://www.city.hirosaki.aomori.jp/sangyo/nogyo/2023-0113-1501-468_R5shien.html

- 1の事業 農政課農地支援係 ☎40-0656
- 2の事業 農政課農産係 ☎40-0504
- 3の事業 りんご課企画推進係 ☎40-0482
- 4～5の事業 りんご課生産振興係 ☎40-7105



（メールマガジン）



（事業詳細）

関係行政機関への要望事項決定

市農業委員会は6月26日、りんご公園「りんごの家」で総会を開催し、関係機関への要望事項を可決しました。

【青森県果樹放任園発生防止等対策事業の拡充に関する要望】

本県産が約9割を占める国産りんごの輸出が好調な中、生産現場では病害虫の発生源となる放任園が増加傾向である。「モモシクイガ」の寄生が輸出先で認められた場合は、輸入停止措置などの影響を受けることから、放任園処理に係る助成基準単価の見直しにより、その解消の促進を図ることを県と市に対し要望。

【目標地図素案作成及び地域計画の実現に係る制度の充実に係る要望】

農業経営基盤強化促進法の改正により、農業委員会が目標地図の素案を作成するために行う、農家等への大規模な意向調査に対する市の財政負担の軽減を図ること。また、今後策定する地域計画の実現に向けて、農地の集積・集約化のための支援の充実について、国へ働きかけるよう県に要望。

なお、上記の要望事項は、今後実現に向けて関係機関に働きかけていきます。

新規就農こみゆねつとわ〜

新規就農者及び就農希望者を対象に、先輩農家と交流するイベントを開催します。交流・仲間づくりの機会としては是非ご参加ください。参加を希望される方は、8月17日（木）までに、下記問い合わせ先へお申し込みください。

- ◆対象 新規就農者（就農開始から5年程度）、就農希望者など
- ◆日時 8月24日（木）午後3時
- ◆場所 弘前市民会館1階 大会議室（下白銀町1-6）
- ◆内容 ゲストトーク、ワークショップ
- ◆ゲスト おりかさ蜜つ星農園 成田 晃氏
（新規就農研修受入経営体）
- ◆定員 30名
- ◆参加費 無料



■問い合わせ先 農政課担い手育成係（市役所前川本館3階）☎40-0767

りんごスマート農業展示会を開催します!

りんご生産現場で活用が期待されるスマート農機の展示会を開催します! 普段なかなか体験することのできない先端技術を体験してみませんか。

- ◆日時 8月18日(金) 正午~午後3時
※雨天決行(荒天の場合は中止)
- ◆場所 弘前市りんご公園(清水富田字寺沢125)
- ◆内容 自動走行型ロボットや眼鏡型デバイスなどの最新のスマート農機を展示するほか、実演会も予定しています。詳細については市HP(QRコード)をご覧ください。

◆参加料 無料

◆問い合わせ先

りんご企画推進係(市役所前川本館3階)
 ☎40-0482 FAX38-5870
 Eメール ringo@city.hirosaki.lg.jp



令和5年度農林総合研究所・りんご研究所参観会

【共通】

◆日時 9月6日(水)、9月7日(木) 午前9時~午後3時

【農林総合研究所】

◆場所 黒石市大字田中82-9

◆内容 研究成果の展示・紹介、水稲品種「はれわたり」、米粉用新品種「あおもりっこ」米粉パンの試食、農業相談コーナー、花の販売、スマート農業機械等展示・実演会など

■問い合わせ先 ☎40-4525

【りんご研究所】

◆場所 黒石市大字牡丹平字福民24

◆内容 研究成果の展示・紹介、ほ場見学ツアー、果樹相談コーナー、農業資材やりんごの販売など

■問い合わせ先 ☎52-2331

今年も健診を実施しています!

国民健康保険に加入している40歳以上の人に国保特定健診、国保人間ドック・脳ドックを、後期高齢者医療制度に加入している人には後期高齢者の健診、歯科健診を実施しています。健診の目的は、体の異常の「早期発見・早期治療」です。自覚症状がないまま進行する病気もありますので、毎年健診を受けてご自分の健康状態を確認しましょう。

健診受診の際は、マスクの着用や手指の消毒など、感染症予防対策にご協力くださいますようお願いいたします。

ため池・用排水路などでの水難事故に注意!

農業用のため池や用排水路などは、誤って転落するなど不慮の事故につながる危険性があります。農業等の本来の目的以外では不用意に近づかず、取水や管理作業等の際には、複数人で行うなど、十分に気を付けてください。

また、施設管理者は、水難事故の未然防止を図るために安全管理の徹底をお願いします。

さらに、日頃からの呼びかけも重要ですので、ため池や用排水路などに不用意に近づいている方を見かけた場合は、注意喚起のために声がけをするなど、地域の皆さんのご協力をお願いします。

■問い合わせ先 農村整備課農村整備係(市役所前川本館3階)
☎40-2955

健診名	対象	料金	実施期間
国保特定健診・後期高齢者の健診	国民健康保険に加入している40歳以上の人、または後期高齢者医療制度に加入している人	無料(健診には約1万円の費用がかかりますが、受診券を使用することで年度内1回に限り無料で受診できます。)	令和6年 3月15日まで
国保人間ドック	次のいずれにも該当する人 ○国民健康保険に加入している40歳以上の人	4,250円(年度内1回。国保特定健診が含まれ、同時受診となります。また、検診内容や年齢により自己負担額が増減することがあります。)	令和6年 3月15日まで
国保脳ドック	○国民健康保険料の滞納がない世帯の人	5,000円(年度内1回。国保特定健診または国保人間ドックとは別に受診できます。)	令和6年 3月31日まで
後期高齢者の歯科健診	後期高齢者医療制度に加入している人	無料(年度内1回。受診券はありませんので、被保険者証をお持ちください。)	令和6年 3月31日まで

■問い合わせ先 【国保特定健診、国保人間ドック・国保脳ドック】国保年金課国保健康事業係☎35-1116
 【後期高齢者の健診・歯科健診】国保年金課後期高齢者医療係☎40-7046

農地の権利取得に係る面積要件がなくなりました

農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律が、令和5年4月1日に施行されました。

これにより、これまで50アールであった、農地の権利取得に係る面積要件は廃止されました。なお、農地の効率利用など、権利取得に関するほかの要件はこれまでと同様です。農地の取得に関しての詳しいことは下記までお問い合わせください。

■問い合わせ先 ・農業委員会事務局農地調整係(市役所前川本館3階) ☎40-7104

・農業委員会事務局岩木分室(岩木庁舎1階) ☎82-1621 ・農業委員会事務局相馬分室(相馬庁舎1階) ☎84-2111